

近畿※における麦生産をめぐる状況



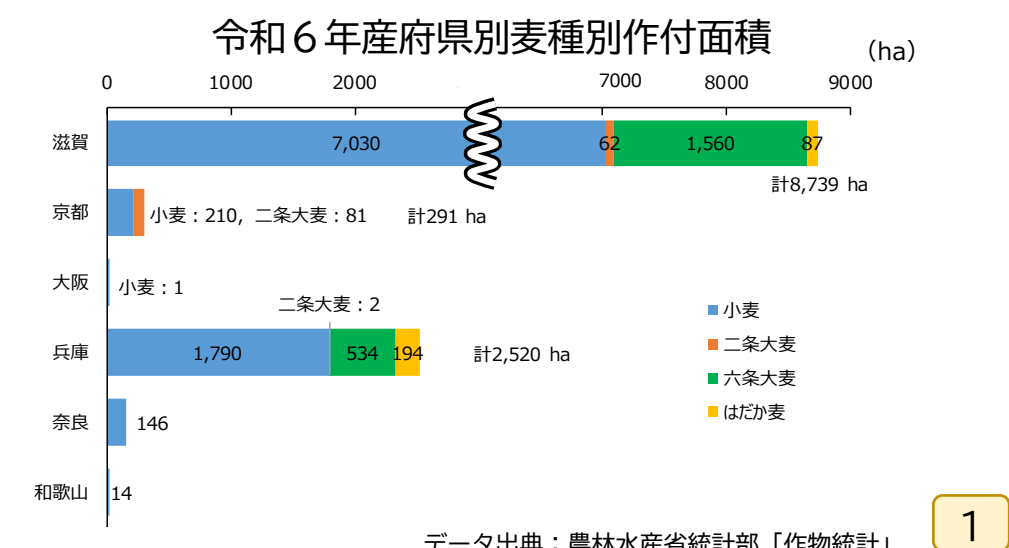
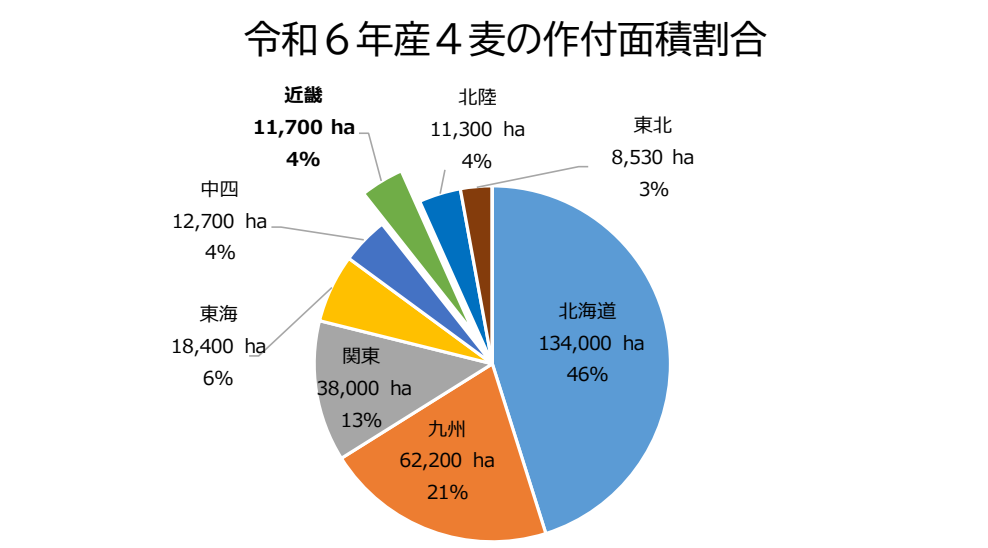
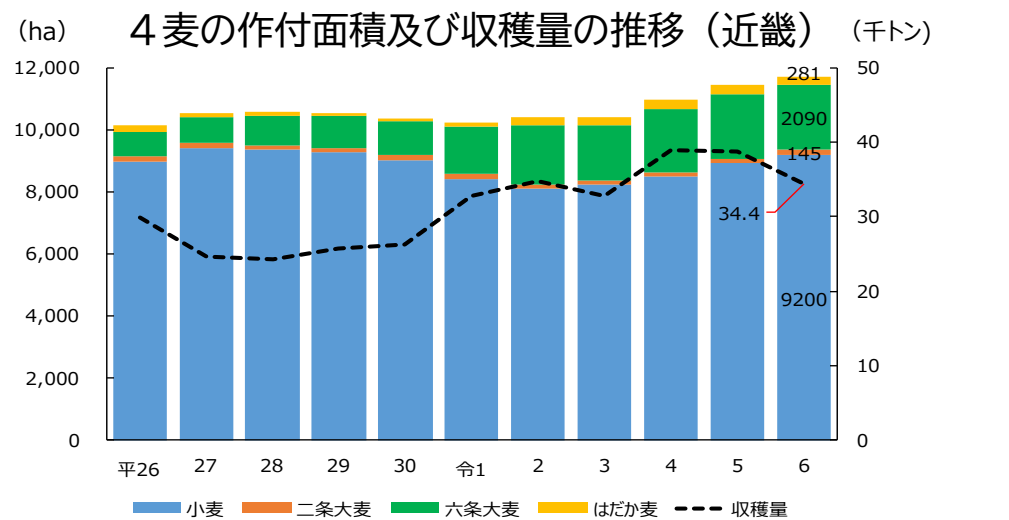
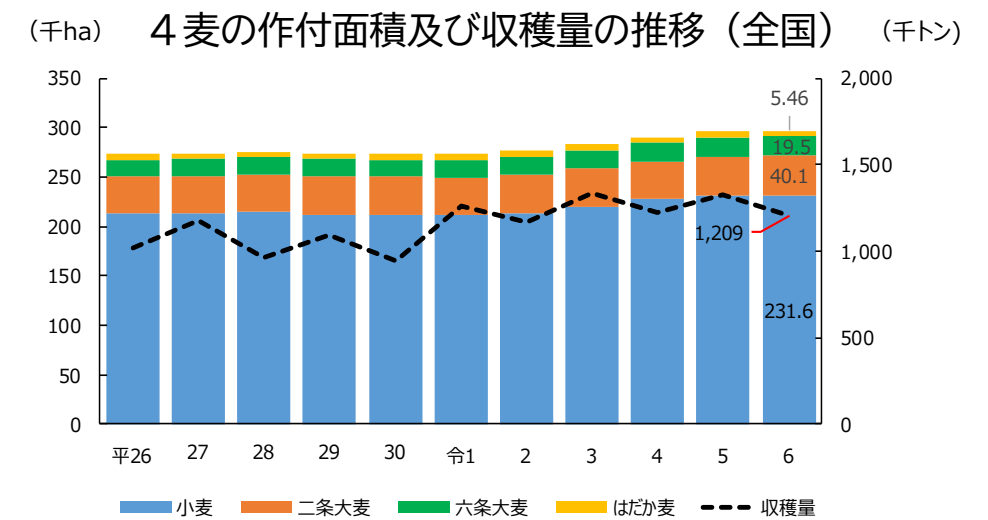
令和7年2月
近畿農政局 生産部 生産振興課

※本資料において、「近畿」は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県を指します。

近畿における4麦（小麦・二条大麦、六条大麦、はだか麦）の作付面積・収穫量

4麦の作付面積は、全国、近畿とも、横ばいで推移していましたが、近年微増傾向にあります。近畿の令和6年産の作付面積は11,700ha（小麦：9,200ha、二条大麦：145ha、六条大麦：2,090ha、はだか麦：281ha）で、全国（296,700ha）の4%となっています。

令和6年産の4麦の収穫量は34,400トンで、全国（1,209,000トン）の3%となっています。

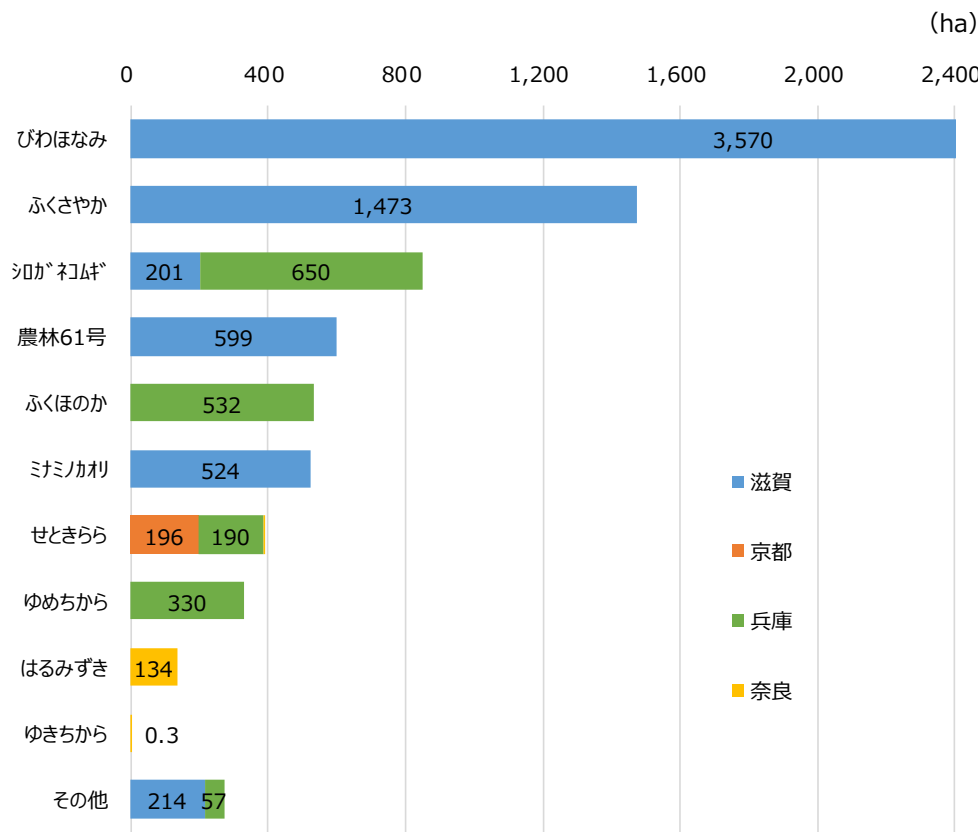


近畿における小麦の品種別作付状況

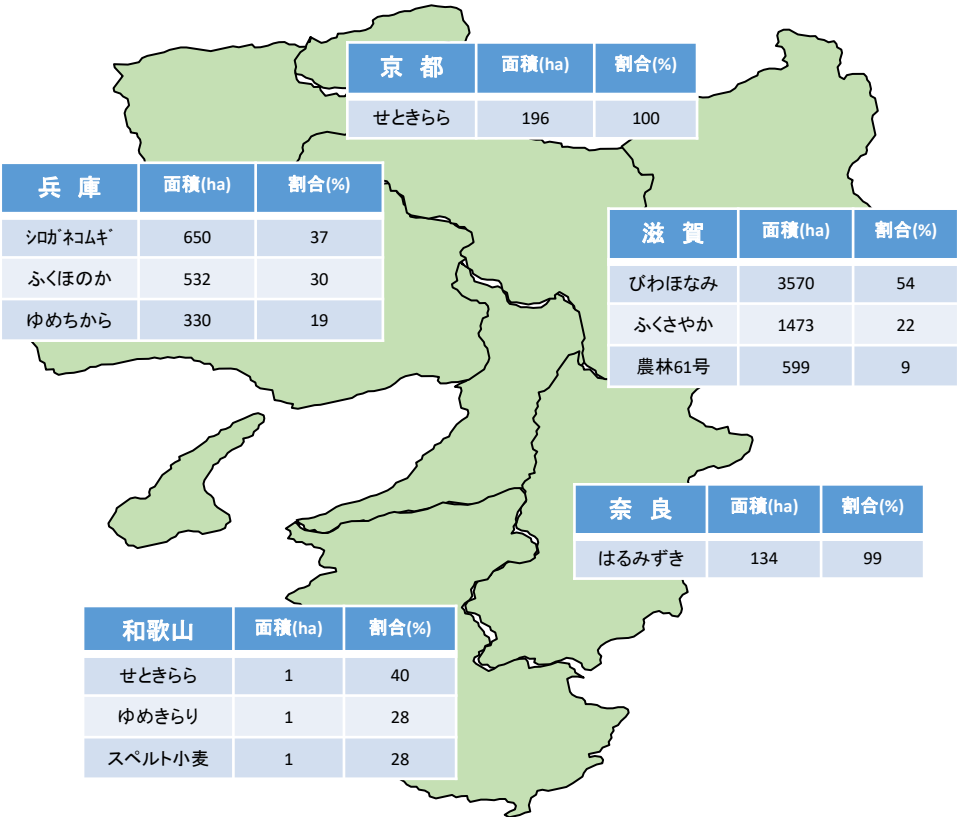
令和 6 年産の小麦を品種別にみると、「びわほなみ」が3,570ha、「ふくさやか」が1,473ha、「シロガネコムギ」が851ha「農林61号」が599haと、この 4 品種で 7 割を占めています。

滋賀県では、「農林61号」から「びわほなみ」への転換を進めており、令和 6 年産「びわほなみ」の作付面積は、3,570haとなっています（「びわほなみ」県内シェア：0.1%（H30年産）→54%（R 6 年産））。

令和 6 年産 品種別・府県別の小麦の作付面積

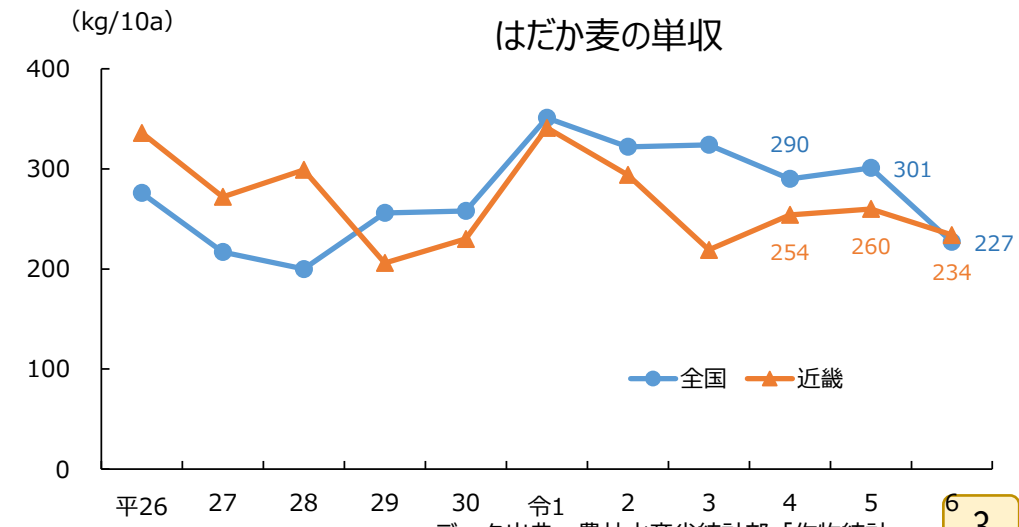
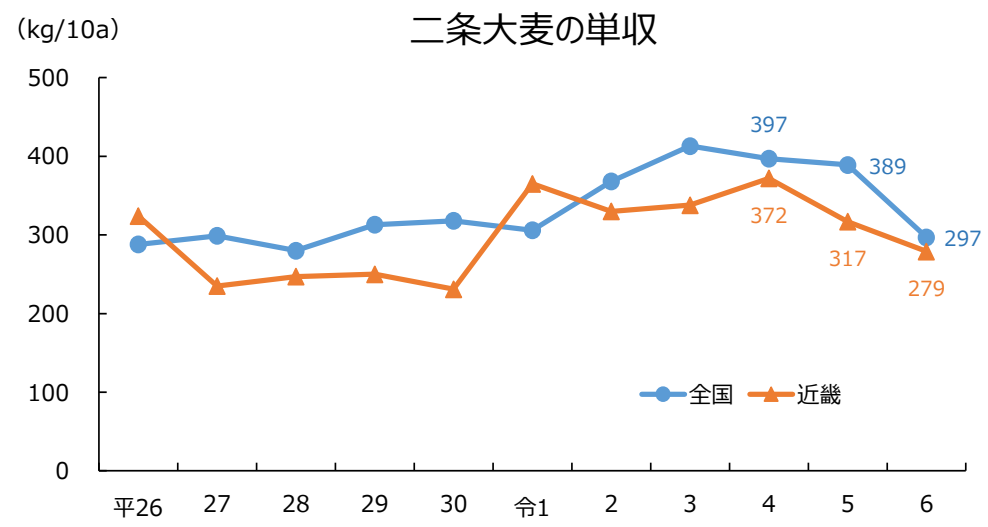
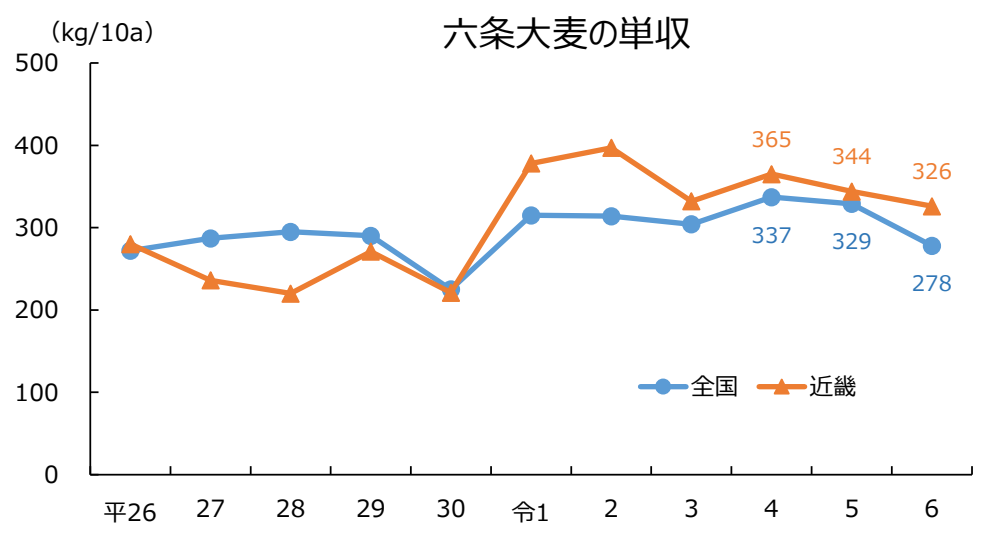
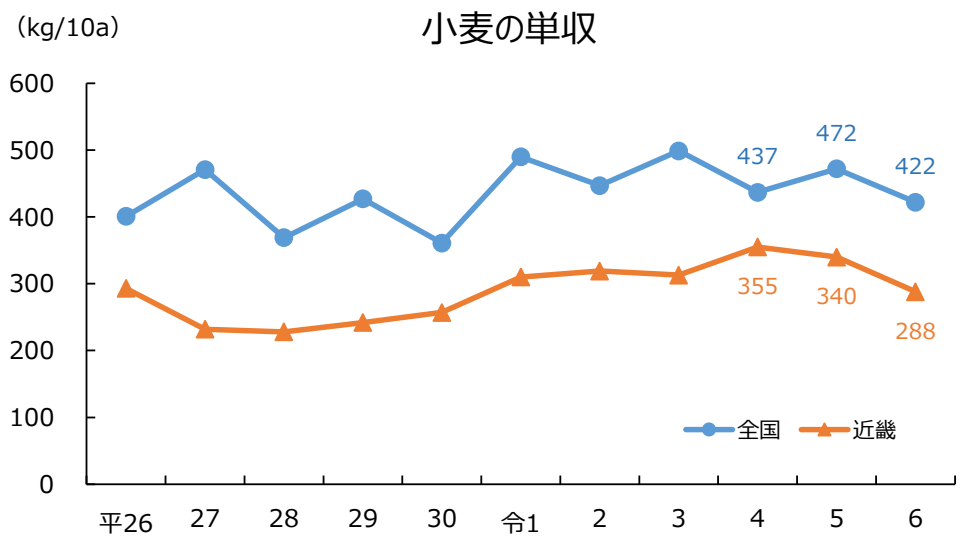


令和 6 年産 小麦の主要品種の作付割合(近畿地域)



近畿における4麦の単収の推移

令和6年産の近畿の麦の単収は、小麦288kg/10a、二条大麦279kg/10a、六条大麦326kg/10a、はだか麦234kg/10aで、はだか麦と六条大麦は、全国（はだか麦：227kg/10a、六条大麦：278kg/10a）より高くなっています。



近畿における小麦の農産物検査 1 等比率の推移

令和 6 年産の近畿の小麦の 1 等比率は 73.3% となっており、令和 5 年産に比べて増加しましたが、全国（87.3%）を下回っています。

